

専門相談員が全国組織

福祉用具
レンタル
会長に山下一平氏



山下会長

介護保険の福祉用具レンタルで配置が義務付けられている福祉用具専門相談員の職能団体が発足した。新

団体名は「全国福祉用具専門相談員協会」で十一日、東京都内で発起人総会・設立総会を開催し、会長に山下一平ヤマシタコーポレーション社長を選出した。将来的には上級資格となる主任福祉用具専門相談員の創設も目指す。初年度で会員三〇〇〇人体制を目標とする。

の地位は確立されていない。資格取得者でも専門的な知識や技術のレベルはバラバラだった。団体の設立は質の底上げと、専門家集団として発言力をつけ、制度や報酬改定に意見を反映させていくのがねらいだ。

「福祉用具専門相談員は福祉用具の『お届け人』になってしまっている。良い福祉用具がその人にあった形で提供できるよう人材とセットになったレンタルのシステムを確立するために専門職のレベルアップ・底上げを集中して行う必要がある」と、設立総会で山下会長は挨拶した。柳澤伯夫厚生労働相が「国民の信頼を得る上でも法令遵守を前提に、福祉の心でサービスの提供を行ってほしい」とエールを送った。副会長には昨上加代子エイゼット代表取締役らが選出された。

研修については、当面テックノエイド協会の「福祉用具ランナー研修」や日本福祉用具供給協会の「福祉用具選定技能士講習」などの先行するレベルアップ研修の受講にポイントを付加する方法を取り、他団体の行う研修と連携していく方針だ。年会費一万円。参加などの問い合わせは事務局03・3443・0011へ。